

平成24年青森県工業統計調査結果書（概要）

平成24年12月31日現在で実施した平成24年工業統計調査（青森県分）については、平成25年11月19日に速報を公表しておりますが、このたび確報を「平成24年青森県の工業」としてとりまとめました。概要は以下のとおりです。

【概要】

平成24年工業統計調査（従業者4人以上の事業所）による本県製造業は、事業所数及び粗付加価値額が前年に比べ減少したものの、従業者数及び製造品出荷額等は増加した。

1 平成24年の本県製造業の動向

東日本大震災の影響により、平成23年の本県の製造品出荷額等と粗付加価値額が大きく落ち込んだが、年の後半から特にパルプ・紙、鉄鋼の製造品出荷額等が震災前の水準をほぼ取り戻し、平成24年の本県の製造品出荷額等は2年ぶりに増加した。

一方で、平成24年は円高基調で輸出産業が伸び悩んだ影響もあり、製造品出荷額等は震災前の平成22年の水準までは回復しておらず、粗付加価値額に関しても原油価格の高騰に伴う原材料使用額等の増加により大幅な減少となった。

2 調査対象期間

平成24年1月1日～平成24年12月31日

3 事業所数

前年比▲2.8%（▲44事業所）の1,514事業所で、4年連続の減少となった。

産業別では、電子部品及びはん用機械等9業種で増加し、食料品、木材・木製品及び印刷等11業種で減少した。

市町村別では、七戸町、黒石市及び十和田市等13市町村で増加し、青森市、弘前市及び八戸市等15市町村で減少した。

4 従業者数

前年比2.0%（1,125人）増の56,037人で、5年ぶりの増加となった。

産業別では、電子部品、はん用機械及び金属製品等11業種で増加し、情報通信、印刷及び木材・木製品等13業種で減少した。

市町村別では、黒石市、十和田市及び六ヶ所村等20市町村で増加し、青森市、平川市及び南部町等18市町村で減少した。

5 製造品出荷額等

前年比6.4% (891億円) 増の1兆4,923億円で、2年ぶりの増加となった。

産業別では、パルプ・紙、鉄鋼及び非鉄金属等12業種で増加し、食料品、情報通信及び輸送用機械等12業種で減少した。

市町村別では、八戸市、六ヶ所村及び弘前市等18市町村で増加し、平川市、三沢市及び三戸町等21市町村で減少した。

6 粗付加価値額

前年比▲5.2% (▲348億円) の6,349億円で、2年連続の減少となった。

産業別では、鉄鋼、パルプ・紙及びはん用機械等10業種で増加し、食料品、業務用機械及び電子部品等14業種で減少した。

市町村別では、八戸市、黒石市及び鶴田町等12市町村で増加し、弘前市、平川市及び三戸町等27市町村で減少した。

主要項目の状況 (従業者4人以上の事業所)

(単位：人、万円)

項目	実数		対前年増減差	前年比 (%)
	平成23年	平成24年		
事業所数	1,558	1,514	▲44	▲2.8
従業者数	54,912	56,037	1,125	2.0
製造品出荷額等	140,320,326	149,234,703	8,914,377	6.4
粗付加価値額	66,969,575	63,487,903	▲3,481,672	▲5.2

※ 平成23年の実数は「平成24年経済センサスー活動調査 (製造業)」の確報値